

2023年度 日本工学院専門学校											
I Tスペシャリスト科											
卒業制作 2											
対象	4 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	白幡 知之			実務 経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
独立系SI企業にて主にプログラマとして勤務。携帯電話基地局の交換機、光ファイバーストリーミング映像配信システム、ビル防犯システム、プラズマテレビを使用した遠隔会議システムの開発などに携わる。											
授業概要											
これまで身につけてきた知識と技術を活用し、グループでの制作に取り組む。この制作活動を通して、社会に出て仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を実践的に身に付けていくこと、実装力を養い仕事に活かせる技術力にしていけること、IT分野の技術動向を自分たちで調べ開拓する力を得ること、プロジェクトに対し適切な役割分担をし、プロジェクトを協力して推進する能力やマネジメントできる能力を育むことなどを目的とする。											
到達目標											
仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を身に付け、授業で学んできたことを仕事に活かせる技術力にし、IT分野の技術動向を知り、自分たちで活用できるようになり、さらにプロジェクトマネジメント能力またはプロジェクトに適切に協力して推進させることができるようになることを目標とする。											
授業方法											
卒業制作 1 の継続科目である。卒業制作 1 で決定した制作物に対し、グループで制作に取り組む。まず、タスクの洗い出し・役割分担・スケジュールリングを行う。続いて、スケジュールに沿って制作活動を行う。制作活動中、定期的に会議体を設け、進捗管理・リスク管理・課題管理などを行う。最後にグループ単位での発表を行い、最終的には2月に実施予定の卒業展で制作物のパネル展示およびデモ展示を行う。また、代表チームは発表（10分程度）を行う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な									
履修上の注意											
卒業制作は、必ず2名以上のグループで行うこととする。学校所有の機材などが制作に必要な場合は申請により使用することもできるが、他の授業での使用が優先される。計画と分担をしっかりと決めて協力して進めること、遅刻や欠席をしないこと、提出物は期日を守り必ず提出すること。評価は基本的にグループ単位で行うので、グループ全体で責任を持って活動すること。尚、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象としない。											
教科書教材											
各グループごとに必要に応じて書籍を使用して良い。インターネットの情報や図書館の書籍も積極的に活用すること。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション 卒業制作 2 の実施趣旨、目標、進め方、および評価方法を理解する										
第2回	計画（1） 制作物が完成するまでの計画を作成する										
第3回	計画（2） 計画について担当教員の承認をうける										
第4回	計画実施（1） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす										
第5回	計画実施（2） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす										

2023年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
卒業制作 2	
第6回	計画実施（3） 計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
第7回	計画実施（4） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第8回	計画実施（5） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第9回	計画実施（6） 計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
第10回	計画実施（7） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第11回	計画実施（8） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第12回	計画実施（9） 計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる
第13回	計画実施（10） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第14回	計画実施（11） 計画に沿って、詳細設計、製造、品質評価などを行い、アウトプットをだす
第15回	計画実施（12） 計画作業に加え、進捗会議を行い、プロジェクトの状況を把握し、必要に応じ対策を講じる